

2022年4月15日

QB 第二号ファンドの出資募集完了について

当社のグループ会社である NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 井上 一成）は、本日、「QB 第二号ファンドの出資募集完了について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2022年4月15日

各 位

NCB ベンチャーキャピタル

QB 第二号ファンドの出資募集完了について

NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 井上 一成）は、QB キャピタル合同会社（代表社員 坂本 剛、本藤 孝）と共同で運営する「QB 第二号投資事業有限責任組合」（通称：QB 第二号ファンド、以下「本ファンド」）について、九州・中四国において最大規模の大学発ベンチャー支援ファンドとなる総額約 70 億円で出資募集を完了しましたので、お知らせします。

本ファンドは、大学の「知」を活用した地域発イノベーションの創出を目指し、西日本シティ銀行（頭取 村上 英之、以下「NCB」）や九州地域を中心とした事業会社からの出資を受けて、2021年4月に総額約 32 億円で組成されました。

また、本ファンドは、新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな分野でイノベーションが求められる社会環境の中、大学の研究成果である知的財産などの事業化を積極的に支援することが、地域のイノベーション創出と地域活性化に繋がる重要な取組みと考え、地方に眠るアカデミアの技術シーズ掘り起こしを行ってきました。

このような本ファンドの投資方針や活動実績が、株式会社産業革新投資機構^(注)（代表取締役 横尾 敬介、以下「JIC」）のミッションや投資基準に合致し、出資の受入れの運びとなったほか、NCB から追加出資を受け入れ、総額約 70 億円で出資募集を完了しました。

当社は、本ファンドを通して、大学発ベンチャーの支援を積極的に行い、地域経済の活性化や雇用の創出に貢献してまいります。

（注）JIC については、別紙「4. JIC の概要」をご参照ください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
NCB ベンチャーキャピタル TEL.092-731-8010
担当 原田・仲尾

1. 本ファンドの概要

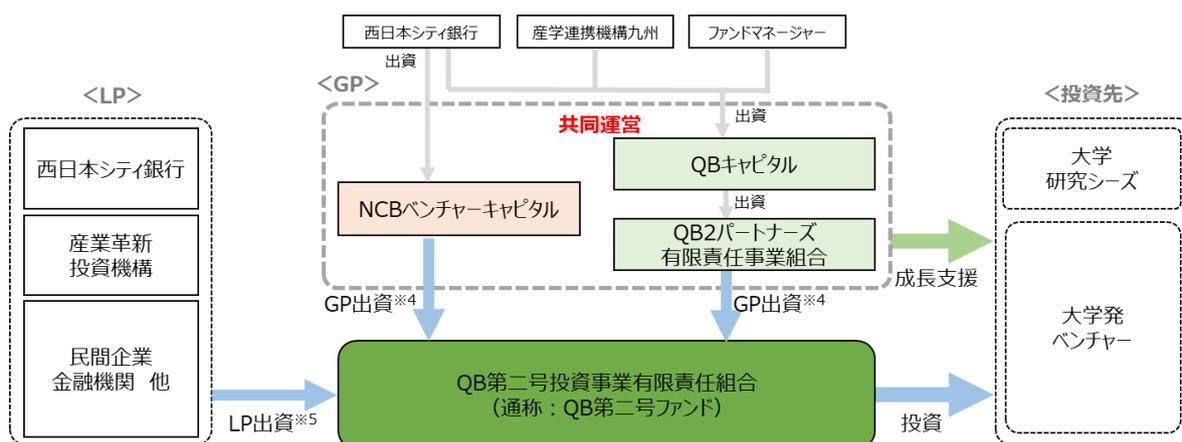
名 称	QB 第二号投資事業有限責任組合（通称：QB 第二号ファンド）	
ファンド総額	約 70 億円	
無限責任組員（GP ^{※2} ）	QB2 パートナース有限責任事業組合 ^{※1} （QB キャピタル） 株式会社 NCB ベンチャーキャピタル	
有限責任組員（LP ^{※3} ）	上村建設株式会社 岡部産業株式会社 九州総合信用株式会社 株式会社九州リースサービス 株式会社九電工 株式会社産業革新投資機構 株式会社システムソフト 株式会社シティアスコム 株式会社新出光 ZFP 第 1 号投資事業有限責任組合	株式会社ゼンリン 福岡酸素株式会社 福岡地所株式会社 株式会社フジコー 増田石油株式会社 三菱 UFJ キャピタル株式会社 株式会社三好不動産 株式会社ゆうちょ銀行 株式会社西日本シティ銀行 （五十音順）
設 立 日	2021 年 4 月 30 日（存続期間 10 年）	

※1 QB2 パートナース有限責任事業組合：本ファンドを運営するために QB キャピタル等が設立した組合

※2 GP（General Partner）：ファンドの運用主体となる無限責任組員

※3 LP（Limited Partner）：ファンドの出資者となる有限責任組員

2. ファンドスキーム図



※4 GP 出資：ファンドの運用主体となる無限責任組員が約束する出資金額

※5 LP 出資：ファンドの出資者となる有限責任組員が約束する出資金額

3. 運営会社の概要

商号	株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
所在地	福岡県福岡市中央区天神 2 丁目 5 番 28 号 天神西通りセンタービル 8 階
事業内容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
株主	株式会社西日本シティ銀行（100%）
代表者	井上 一成

商号	QB キャピタル合同会社
所在地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
事業内容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
出資者	株式会社産学連携機構九州 株式会社西日本シティ銀行 他
代表社員	坂本 剛、本藤 孝

4. JIC の概要

JIC は 2018 年 9 月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社であり、Society5.0^{※6} に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへの LP 投資を通じてリスクマネーを供給することで、日本におけるオープンイノベーションを推進し、国内産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

※6 Society5.0 とは、サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society）のこと。

以 上